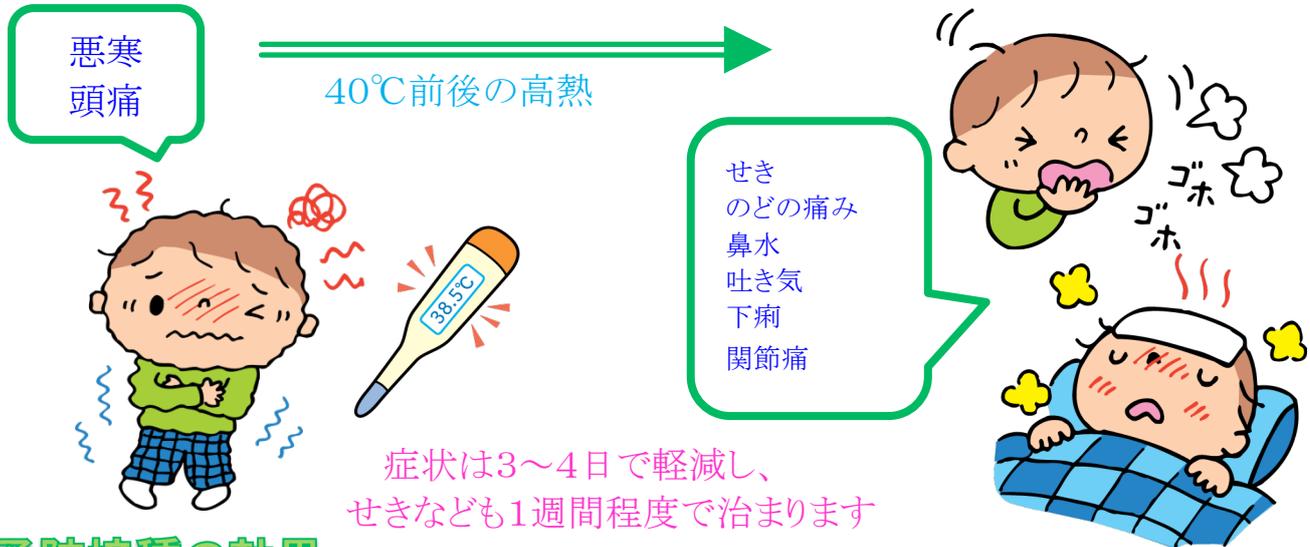


インフルエンザの症状

突然の高熱（38℃以上）、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状が強く出現し、のどの痛み、せき、鼻水などの風邪の症状も見られる。

（高齢者は気管支炎や肺炎、子どもは脳症を併発するおそれがあるので注意が必要です）



予防接種の効果

予防接種を行うことにより、インフルエンザの発症や重症化を予防することができます。ワクチンの効果が現れるまでに接種後、約2週間かかり、約5ヶ月間効果が持続するとされています。（2回接種のお子様は2回目接種後、約2週間頃から効果が現れます）

現在、妊娠中や授乳中の方も接種可能です。

接種時期および接種間隔と回数

インフルエンザの流行時期は毎年12月下旬から3月上旬となりますので、流行する前の12月中旬頃までには済まされることをお勧めします。

接種回数は12歳以上（中学生以上）の方は1回

12歳（小学6年生）～満1歳のお子様は2回接種となります。

なお、2回目は1回目接種日から4週間あけて接種することをお勧めしていますので、なるべく流行前に接種を完了させましょう。流行が始まっていて2回目接種を急ぐ場合は、1回目接種日の翌日から数えて6日以上あいていれば2回目の接種が可能です。

接種後の注意

- ・接種後30分くらいは、急な副反応が起こることがあるので安静にしましょう
- ・注射箇所はこすらず、接種後は激しい運動は避けましょう
- ・接種当日の入浴は差し支えありません

※万が一、高熱やけいれんなどが現れた場合、速やかに医療機関を受診してください



野沢3丁目内科

世田谷区野沢3-1-16

03-5779-8255

